

夏野菜のピリ辛サラダうどん

管理栄養士
松本 真歩

栄養科 健康レシピ

材料 (2人分)

- きゅうり…1本
- トマト…1玉
- オクラ…50g(1/2袋)
- 黄パプリカ…1/2個
- 鶏ささみ…100g
- みょうが…1個
- 冷凍うどん…2玉
- 酢…大さじ1 1/2
- はちみつ…小さじ2
- ごま油…小さじ1/2
- 豆板醤…小さじ1/2
- 醤油…大さじ1
- 塩…適量

作り方

- きゅうり、トマト、パプリカは1cmほどの角切りに、オクラは塩を振って板ずりをしてから流水で洗い、5mmほどの厚さの輪切りにする。
- 鶏ささみは茹で、①の野菜と同じくらいの大きさに切る。
- 塩以外の調味料を混ぜ合わせる。
- 野菜とささみと③の調味料を混ぜ合わせる。
- うどんを茹で、水でしめる。茹でている間にみょうがを縦半分にしてから斜めに薄く切る。
- うどんを皿に盛り、その上に④を盛る。最後にみょうがを上のにせて完成。

ポイント

夏が旬の**トマト**には、**ビタミンC**や**ビタミンB群**、**リコピン**など様々なビタミンが含まれています。中でも、**ビタミンB₁**は夏バテによる食欲不振解消にも効果的です。このレシピでは、酸味と辛味そではちみつのまろやかさで夏野菜を美味しくたくさん摂れるようにしております。夏野菜を摂ってこれから更に暑くなる夏を元気に乗り切りましょう。

栄養成分 (1人分)

エネルギー	411kcal
たんぱく質	11.3g
脂質	5.4g
炭水化物	82.3g
塩分	2.2g

IMSグループからのお知らせ

医療・介護のことでお悩みはありませんか？

イムス総合サービスセンター(イムスGSセンター)は、病院・介護施設選びに困った際にご利用いただける病院相談窓口です。皆さまからの医療・介護のご相談をお受けいたしますので、お電話かホームページ(メールフォーム)よりお問合わせください。

0800-800-1632

メールでも病院受診相談をお受けしています。右メールフォームをご利用ください。

受付時間 平日 8:30~17:30
土曜日 8:30~12:30 (日祝・年末年始休み)

IMSグループの最新情報をWEBサイトでご覧いただけます。 <http://www.ims.gr.jp/gscenter/>

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 1-21-11 オーク池袋ビルディング9F

お写真大募集!!

読者の皆さまの応募を心よりお待ちしております。

【夜桜】

撮影：新松戸中央総合病院 職員

松戸写真館 2018

IMS(イムス)グループ医療法人財団明理会

新松戸中央総合病院

〒270-0034 千葉県松戸市新松戸1-380

047-345-1111(代表)

当院のホームページもぜひご覧ください

<http://www.ims.gr.jp/shinmatsudo/>

診療科目

内科 呼吸器内科 消化器・肝臓内科 循環器内科 血液内科 腎臓内科 神経内科
感染症内科 外科 心臓血管外科 乳腺外科 大腸肛門外科 呼吸器外科 整形外科
脳神経外科 形成外科 精神科 リウマチ科 小児科 皮膚科 泌尿器科 眼科
耳鼻咽喉科 放射線科 病理診断科 救急科 麻酔科

【専門センター】：消化器病センター 心臓血管センター 血液浄化センター

受付

午前 7:30 ~ 12:00
午後 12:00 ~ 17:00(土曜日は午前のみ)

診療開始時間

午前 9:00 ~
午後 14:00 ~

IMSグループ 広報誌 プラザイムス

PLAZA IMS

新松戸中央総合病院
～高度な医療で愛し愛される病院～

Vol.21

『家族の結びつき』が花言葉である【あじさい】地域の皆様との結びつきを大切にする広報誌です

エイズ治療拠点病院

■エイズ治療拠点病院とは■

日本でもHIV感染者は増大を続けています。各地域の中でエイズ診療の拠点となる病院を確保し、そこを拠点として地域の他の医療機関においてもエイズ患者の受け入れを進めていくことを目的として、全国にエイズ拠点病院が設置されています。

平成28年12月、IMSグループ初のエイズ治療拠点病院となりましたが、当院の感染症内科で扱うのは感染症全般です。感染症(infectious disease)とは、寄生虫、細菌、真菌、ウイルス、異常プリオン等の病原体の感染により、「宿主」に生じる望まれざる反応(病気)の総称になります。今日でも、世界では感染症は未だに死因の約1/4を占め、特にマラリア・結核・エイズ・腸管感染症は発展途上国で大きな問題であり続けています。

我が国での感染症といえばインフルエンザやノロウイルスに代表される急性疾患が中心でありますが、HIV、肝炎ウイルスをはじめとして数十年付き合わなくてはならない慢性疾患も含まれます。そして近年では胃がんや有名ピロリ菌をはじめとして感染症から発症する癌も注目されています。脳の感染症である脳炎、髄膜炎から肺炎や心内膜炎、胆管炎、胆のう炎や腎盂炎など、また骨盤内の腸腰筋などをはじめとする深部膿瘍や眼皮膚感染症などその部位も全身に及び、その扱う範囲は多岐にわたります。

エイズについては、日本では幸い累計で2万5000人ほどの患者数(薬害エイズを含む)ですが、東南アジアや中国を含め世界中の感染者はおよそ3500万人、年間210万人の新規感染者と150万人の死亡者が出ているのが現状で、いまだ人類の脅威のひとつと考えられています。2020年の東京オリンピックを待たずとも日本への渡航者の数は年々増加しており、日本での感染リスク自体も増加していると考えています。

幸いなことに現在では初期の段階で治療開始すればウイルスのコントロールは十分可能な治療法が確立しており、生命予後は非感染者と遜色ない40~50年の余命と考えられています。一方で生活習慣病や認知症のリスクがその後の生命予後の規定因子となってきています。また、医療従事者の針刺しなどでの感染リスクも適切な対応であればほぼ0%と言われています。

エイズ治療拠点病院としての当院の使命は重症患者さんについて専門的な医療を行うことであり、様々な症例に対応可能な総合的で高度な医療を提供することを求められていますが、それは当院の目指す方向性とも一致するものでもあります。また、エイズに関しては日進月歩で治療・診療方法が進歩しているため、拠点病院においてはそれらの情報の収集及び地域の医療機関への情報提供・教育を行うことも役割のひとつです。現在も行っている研修医、職員をはじめとした教育の継続に加え、今まで以上に院外にも目を向けた地域連携、グループ連携を実施していきたいと思っています。

エイズに限らず感染症全般何でもご相談いただける体制にしていきたいと思っていますのでよろしくお願いします。

もくじ

P1 エイズ治療拠点病院
P2 感染症内科
P3 E Rのご案内
P4 栄養科健康レシピ

ER室長 感染症内科部長

なかお やすひで
中尾 安秀 医師

資格・所属学会

日本内科学会認定内科医、
総合内科専門医
日本感染症学会専門医、指導医
日本化学療法学会抗菌化学療法指導医
Infection Control Doctor
JMECCインストラクター
日本救急医学会認定 ICLSディレクター
日本環境感染学会
日本臨床救急医学会
日本エイズ学会認定医

専門・得意分野

救急
集中治療
重症感染症

感染症内科

「感染症」は体内に病原性微生物が侵入して引き起こす病気の総称です。インフルエンザに始まって麻疹、肺炎、食中毒、がんの原因となる肝炎ウイルスやピロリ菌感染、海外渡航でリスクが高まる様々な伝染病と数え切れません。正しい予防知識を身につけ、感染症対策を心がけましょう。

主な対象疾患

- 一般感染症
…細菌、ウイルス、真菌、寄生虫、結核など
- 輸入感染症
【当院は蚊媒介感染症専門医療機関です】
…旅行者下痢症、マラリア、デング熱など
- 性行為感染症…梅毒、淋菌、クラミジアなど
- 耐性菌感染症…MRSAや緑膿菌など
- 渡航前相談 ●HIV感染症、エイズ
- 菌血症、敗血症 ●ダニ媒介感染症
- 不明熱など

医師紹介

ER室長/感染症内科部長

中尾 安秀 医師

高嶋 英樹 医師

阿部 公俊 医師

感染管理認定看護師



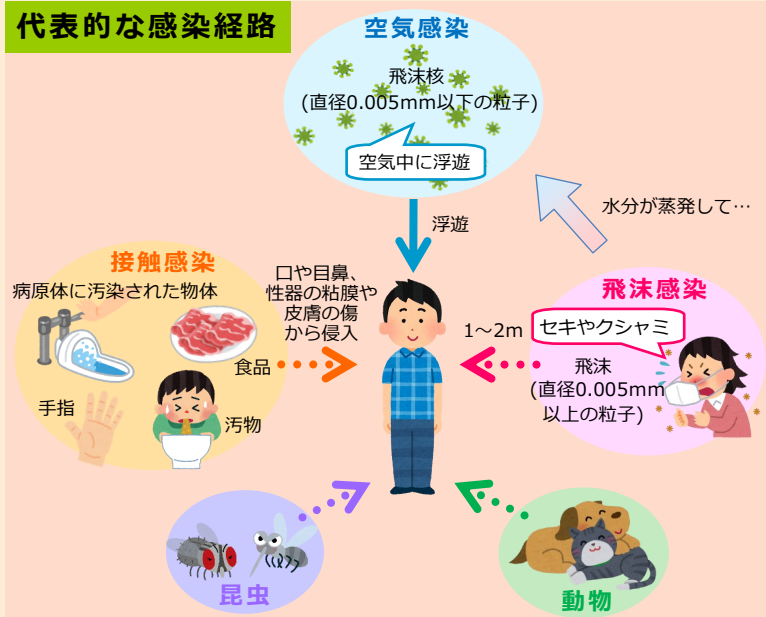
看護師長
たけむら れいこ
竹村 玲子

感染に関するご相談をお受けします

- 正しい手洗い方法のタイミング
- 院内感染対策に関する細菌について
- 个人防护具の使い方 など

「感染対策に関することは何でもご相談ください」

代表的な感染経路



感染管理認定看護師は、保険医療施設におけるすべての人を感染から守るための知識と技術を習得し、感染管理に組織的・効果的に取り組むことができる看護師の事をいいます。IMSグループにおける感染防止対策確立のため、新入職オリエンテーションをはじめ、研修・コンサルテーションマニュアル作成など行っております。

感染は実践が命となるため、皆さまに正しい知識と技術の情報提供をタイムリーに行えるようにしていきます。

総合診療科

医療の進歩、生活環境の変化から平均寿命が延長した結果、ひとつだけではなく多数の疾患を同時に持った高齢患者さんが増えています。一方で、医療は臓器別に細分化が進んでしまい、単一の専門科のみでは対応しきれない患者さんが増加しているのも事実です。そこで診療科を横断的に診察、診断治療するのが総合診療科の役割です。

主な対象患者

- 救急車や独歩にて救急外来に来院された方
- 他院・他科より紹介等の患者さんで発熱や炎症反応高値などといった病態がありながら診断がつかない方
- 複数の合併症があるため特定の専門診療科での診療がそぐわない方 など

医師紹介

中尾 安秀 医師

高嶋 英樹 医師

関根 瑞保 医師

松橋 和久 医師

阿部 公俊 医師

坂本 雄飛 医師

竹入 彩乃 医師

湯浅 奈央子 医師

当院ではもともと内科は一般内科とそれ以外の専門診療科となっていました。内科系を再編し、総合内科、総合診療科として各専門診療科と連携しながらより良い診断、治療を行う体制としました。総合診療科は救急・総合診療科として救急医療においても救急科のサポートをする役割を果たしています。また、臨床医を育成する場でもあります。診断困難症例や複合的な慢性疾患などの病気の診察だけでなく、総合的な診療姿勢を持った医師の養成を目指します。

【外来担当医表】

※総合内科として対応させていただいております。受診する診療科でお悩みの場合は、まず総合内科にご受診、ご相談ください。

【新患】	月	火	水	木	金	土
午前 7:30～11:30 午後12:00～15:00				松橋		高嶋～11:00
【再診】				竹入		阿部11:00～
午前 7:30～12:00 午後12:00～17:00						坂本10:00～
【紹介】	高嶋	関根	坂本		湯浅	
午前 7:30～12:00 午後12:00～17:00	松橋	阿部				

ER (救命救急室)のご案内

当院は松戸市の二次救急医療機関として市内で2番目に救急車の受け入れをしており、24時間体制で初療および入院手術等の専門的診療を行い、救急当番日（松戸市輪番）には患者の受入れ可能な病床を確保しています。また、近隣の三郷市や流山市等市外からの要請も多く受けています。

緊急カテーテル検査など内科系のみならず脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科等一般外科以外のオンコール体制も充実しています。

救急外来は簡易陰圧室、除染室を備えており、診察室3室+6床を基本としています。災害時等には臨時ベット転用可能な配管を施工済みです。現時点（2018年）では初療のみ（転送を考慮）対応の疾患としては重症熱傷、開放性骨折、動脈塞栓術などを要する多発外傷などがあげられますが、救急外来での穿頭（を含めた各種）ドレナージ、緊急開胸などが行える体制です。



昨年度の実績は救急外来受診者が2万人弱、救急搬送受入れ数は5464件、入院率は約30%でした。そのうち内科系が7割強を占めています。



救急看護
認定看護師

看護主任 おざわ さとし
小澤 智

以下のようなご相談をお受けします

- 救急受診をするべきか迷っている場合
- 自宅でできる症状の対処法を知りたい
- 救急車を呼ぶべきなのか迷っている場合
- 救命処置講習（BLS/ICLS/ACLS）を受講したい

救命救急室での看護は、救急看護を必要としている小児から高齢者、妊産婦に対し発達段階における特徴を踏まえ迅速かつ的確なフィジカルアセスメントを実践しています。また、救急患者の病態に応じて問題の優先順位を迅速に判断し、適切な初期対応技術を実践することで刻々と変化する重症救急患者の病態に対応し、効果的かつ安全な全身管理技術を実践するよう努めております。救急受診をするべきか迷う場合は、昼夜問わず電話での相談も受け付けております。

▶ 地域の医療機関情報

連携医療機関のご紹介

当院では平成26年4月より、地域の医療機関の先生方と『連携医療機関登録医制度』の運営を開始いたしました。近隣医療機関の先生方に安心して診療をしていただけるよう院内に病床を準備し、患者さんの住み慣れた地域で安心して医療が受けられるよう、病診連携の充実に力をいれております。

かとれあ眼科



〒271-0092 千葉県松戸市松戸1181アトレ松戸5F
☎ 047-362-1191

標 榜 科	眼科（眼科全般、コンタクトレンズ）
休 診 日	アトレ松戸店の休館日

医師紹介

やまぐち ひさみ
山口 尚美 院長

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
午前 10:30～13:30	●	●	●	●	●	●	※	●
午後 3:00～8:00 （7:00 受付終了）	●	●	●	●	●	●	※	●

※【日曜日】午前10:30～13:00 午後2:00～7:00（18:30 受付終了）

- ・混雑状況によっては、受付時間よりも早く受付が終了する可能性があります。
- ・年末年始、夏期休暇、連休、学会参加などで臨時休診や受付時間が変更になる場合もございます。来院前にご確認ください。

松戸における眼のかかりつけ医になれるよう努めています。

【治療の詳細】症状によりましては、細隙灯り顕微鏡で映し出されたご自身の目を、モニターで患者さんにも見ていただきます。患者さんに現在の状態を説明し、治療方針を定め、各個人に適した治療プログラムを組みます。

【治療で心がけていること】患者さんにわかりやすくお伝えすることを心がけています。些細なことでも目に関することだと、不安になるものです。過不足なく患者さんに診断を説明し、最適な治療方針を提案します。必要以上に目で悩まされないようコミュニケーションを大切にしています。

★土・日・祝日も休みなく診療しております ★駅ビル内にあり、通院に便利です

★夜7時まで診療しており、仕事帰りにも通えます